

海外安全対策情報第3四半期（7～9月）

在ブルガリア日本国大使館

1 社会・治安情勢及び一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （1）ブルガリアの犯罪発生件数は近年減少傾向にありますが、2015年の犯罪発生状況を日本と比較すると、ブルガリアで強盗・窃盗被害に遭う割合は日本の約1.4倍にも上ります。

特に首都ソフィアでは観光名所にもなっているマーケット、バスやトラム等の公共交通機関でのスリ、ひったくりが多発しており、特に注意が必要です。外出時は常に防犯意識を高く持ち、貴重品の管理には十分注意して下さい。

- （2）主に中東からの難民が国内に流入しており、首都ソフィア及び各地方都市において、治安当局により不法難民が数十人単位で拘束される事案が継続して発生しています。首都ソフィアでは一般市民が巻き込まれる凶悪事件は発生していないものの、9月に中東系移民らが多く居住する地域で難民に対する不法滞在斡旋業者同士の対立を端とする傷害事件が発生していることから、主要観光名所から外れた地域への不要不急の外出は控えて下さい。

2 テロ・爆弾事件発生状況

テロ・爆弾事件は発生していません。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人が被害に遭った事件は認知していません。

4 日本企業の安全に関する諸問題

対日感情は基本的に良好で、特段の問題点は報告されていません。

以上